

# 幸田町「平成」の歩み

平成も残すところあと2カ月です。この30年余り、たくさんのお出来事がありました。平成に幕が下りるに当たり、平成元年から30年までの幸田の出来事を写真で振り返りながらご紹介します。

## 幸田の出来事 平成年表

平成元年

4月1日 北部中学校が開校(写真①)

7月29日 第1回幸田彦左まつり開催(写真②)

平成2年

3月6日 人口3万人を突破

平成6年

5月17日 ハッピーネス・ヒル・幸田 名称発表

12月26日 幸田の万歳(三河万歳)が重要無形民俗文化財(国指定)に(写真③)

平成8年

1月5日 町立図書館がオープン

4月1日 三菱区が芦谷区に合併し22行政区に

8月30日 町民会館がオープン

12月24日 インターネットに町のホームページを

発信

平成9年

8月16日 第1回こうた夏まつりを開催(写真④)

9月18日 筆柿渋自動選別選果機稼働

平成10年

7月2日 町民プールがオープン

8月30日 近藤徳光氏が町長に就任

平成11年

12月5日 JR快速電車停車記念イベント

平成12年

9月11・12日 台風14号(東海豪雨)により

広田川が決壊

幸田彦左まつりは平成と共に始まりました。それまでは、幸田駅前通りを歩行者天国にした夏の夜店まつりでしたが、昭和63年に愛知県商工会連合会から「小規模特別事業(風おこし事業)」の指定を受けたことがきっかけとなり、幸田町に縁のある歴史上の人物「大久保彦左衛門」らに扮して練り歩く「幸田彦左まつり」へと姿を変えました。今ではすっかりと定着し、幸田の夏の風物詩となりました。



第1回幸田彦左まつり(平成元年)幸田町商工会提供

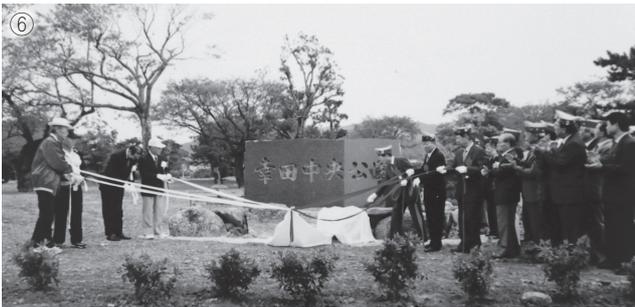




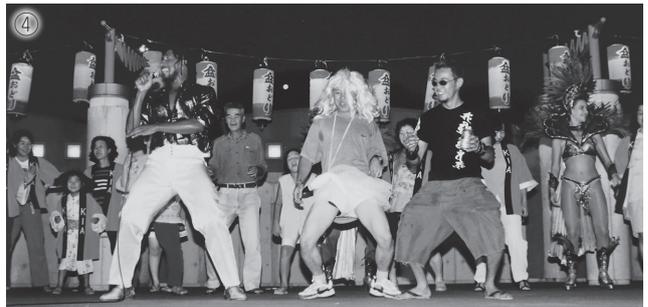
重要無形民俗文化財に指定された三河万歳（平成6年）



新校舎で手を振る北部中学校の生徒（平成元年）



幸田中央公園が開園（平成14年）



第1回こうた夏まつりのステージで踊る参加者（平成9年）

平成19年 3月26日	中央公民館・幸田中学校体育館が竣工 国道23号名豊道路岡崎バイパスが開通
平成18年 1月1日	岡崎市と額田郡額田町が合併、幸田町は額田郡内唯一の町に
平成18年 5月14日	女性消防クラブが発足
平成18年 8月6日	28年ぶりの町長選挙（近藤徳光町長の第3期目）
平成18年 7月1日	新消防庁舎業務を開始
平成18年 9月22日	愛・地球博で「幸田町の日」を開催
平成17年 5月10日	愛・地球博カンボジア王国ナショナルデーに豊坂小学校児童がアプサラダンスで参加
平成17年 10月10日	幸田町町村合併50周年記念式典を挙行
平成16年 10月10日	完成
平成16年 11月18日	幸田サーキットYRP桐山が桐山区に
平成16年 11月14日	岡崎額田地区合併協議会参加見送りが決定
平成16年 10月1日	カメリアガーデン幸田が相見にオープン
平成15年 9月17日	愛・地球博一市町村一國フレンドシップ事業の相手国がカンボジア王国に決定
平成15年 10月1日	幸田中央公園が開園（写真⑥）
平成14年 4月1日	新行政区「桜坂区」が加わり23区に（写真⑤）



刈田さんと桜坂コミュニティーホーム

平成で唯一の新行政区となった「桜坂区」。初代区長の刈田昇生さんにお話を聞きました。

桜坂区ができる前は準備委員会で規約や区長決めのため何度も話し合いました。区が誕生してからも、町や学区の行事に参加することが難しい時もあり、大変でした。でも周りの人や荻谷学区の人など多くの人たちに助けられました。桜坂区はみんなで一緒に育ててきたコミュニティだと思います。これからも安心して声を掛けられる、仲の良いコミュニティであってほしいです。



⑩ JR相見駅が開業（平成24年）



⑦ 8月末豪雨により出現した「菱池」(平成20年)



えこたんは、幸田町特産の筆柿をかぶった女の子です。環境と都市交通のイメージキャラクターとして誕生しました。名前の由来は「エコロジー+幸田+タウン」です。環境にやさしいまちづくりのために活躍中で、えこたんバスの名前の由来にもなっています。ほかの場所でも活躍しているえこたんを見つけてみてください。

- |                    |                      |                     |                     |                     |                     |             |               |         |  |                 |              |                                  |                        |  |           |  |
|--------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------|---------------|---------|--|-----------------|--------------|----------------------------------|------------------------|--|-----------|--|
| 平成26年<br>3月18日     | 平成25年<br>7月3日        | 平成25年<br>7月17日      | 7月13日               | 7月12日               | 5月21日               | 4月29日       | 3月17日         | 平成24年   | 平成23年<br>3月13日                           | 平成22年<br>1月6日   | 8月30日        | 9月24日                            | 平成21年<br>4月4日          | 5月14日                                    | 9月11日     | 平成20年<br>8月28日                           |
| 瑞雲山本光寺にある深溝松平家墓所が国 | 西三河9市1町で災害時相互応援協定を締結 | 東京都立川市と災害時相互応援協定を締結 | 岩手県住田町と災害時相互応援協定を締結 | 岩手県平泉町と災害時相互応援協定を締結 | 長野県箕輪町と災害時相互応援協定を締結 | 幸田駅前銀座がオープン | JR相見駅が開業(写真⑩) | 活動が行われる | 東日本大震災の被災地へ緊急消防援助隊<br>第一次派遣、町内では多くの被災地支援 | 深溝松平家墓所が町文化財に指定 | 大須賀一誠氏が町長に就任 | 環境と都市交通のイメージキャラクター「えこたん」が誕生(写真⑨) | 道の駅「筆柿の里・幸田」がオープン(写真⑧) | 本光寺の深溝松平家東御廟所にある7代<br>当主忠雄公墓所から多数の副葬品が出土 | 幸田駅開業100年 | 夜間からの豪雨(8月末豪雨)により赤川<br>と広田川の合流地点が決壊(写真⑦) |

幸田町の特産品である筆柿や、タケノコ、ナス、イチゴなどの農産物が豊富にそろった「道の駅 筆柿の里・幸田」。オープン当時の社長だった勝田信二さんにお話を聞きました。

オープンする前は、お店に農産物を出品してくれる人を探すのが大変でしたが、いざオープンしてみると想定を上回るお客さんが来て、すぐにレジに行列ができるほどでした。また、平成30年からは姉妹都市である長崎県島原市の特産品を扱っています。今後は、オープン10周年祭と来客者数400万人記念に向けた準備を整えていきたいです。



⑧ 勝田さんと現在の道の駅 筆柿の里・幸田

# 平成から、次の時代へ



## 新しい未来が始まる



- 3月23日 史跡「島原藩主深溝松平家墓所」として文化財指定(写真⑪)
- 6月29日 国道23号名豊道路蒲郡バイパスが開通(写真⑫)
- 平成27年 幸田町町村合併60周年記念式典を挙行
- 7月2日 幸田ものづくり研究センターを愛知工科大学に開設
- 10月31日 島原市友好親善訪問団約100人が来町
- 平成28年 人口4万人を突破
- 2月4日 JR三ヶ根駅が開業50周年
- 平成29年 長崎県島原市と友好姉妹都市提携を締結(写真⑬)
- 3月20日 岡崎幸田消防指令センター業務開始
- 10月11日 幸田町多世代交流施設「豊坂ほっと館」開館
- 平成30年 成瀬敦氏が町長に就任
- 4月1日
- 5月28日



国史跡の文化財に指定されている瑞雲山本光寺の深溝松平家墓所

### 問合せ

企画政策課政策情報グループ  
 ☎(0564)62-1111  
 (内線3333)  
 FAX(0564)63-5139



長崎県島原市と友好姉妹都市提携を締結(平成29年) 島原市提供



開通を記念して国道23号蒲郡バイパスを歩く人たち(平成26年)